

## 平成 29 年度事業報告

### 1 知識普及・啓発活動事業

#### (1) 運営委員会の開催

① 4月10日 ② 7月10日 ③ 10月2日 ④ 2月5日

#### (2) 機関誌「すこやかハート」の発行

① 130号(2017年 6月)カラー 8頁・2,500部

② 131号(2017年 10月)カラー 8頁・2,500部

③ 132号(2018年 2月)カラー12頁・2,500部

#### (3) 講演会等

市民フォーラム 2017「願いは健やかハート」

・主 催：北海道心臓協会、北海道新聞社

・後 援：北海道、北海道医師会、札幌市医師会、北海道国民健康保険団体連合会、  
北海道看護協会、北海道薬剤師会、北海道栄養士会

・協 賛：(株)アクティブメディカル、アクティリオンシューティカルズジャパン(株)、  
アストラゼネカ(株)、MSD(株)、イムノサイエンス(株)、大塚製薬(株)、小野薬品工業(株)、  
沢井製薬(株)、三和化学研究所(株)、(株)スズケン、第一三共(株)、大正富山医薬品(株)、  
大日本住友製薬(株)、武田薬品工業(株)、田辺三菱製薬(株)、帝人ファーマ(株)、トーアエイヨー  
(株)、日医工(株)、日本ベーリンガーインゲルハイム(株)、日本メジフィジックス(株)、  
日本メドトロニック(株)、ノバルティスファーマ(株)、ノボノルディクスファーマ(株)、  
バイエル薬品(株)、ファイザー(株)、ブリストルマイヤーズ(株)、北海道エア・ウォーター(株)、  
メドアシスト(株)、(株)ムトウ、持田製薬(株)

・日 時：10月7日(日)、約650人参加

・場 所：道新ホール(札幌市中央区大通西3)

・内 容：

I 健康相談(10:30開場、最終受付12:00)道新ホールロビー特設コーナー

医師4人、看護師、薬剤師、栄養士各1人による循環器疾患に関する無料相談

II 講演(13:10開場、13:30開演、16:10終演)

一部/座長：三浦 哲嗣氏(札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学教授)

演者：長谷部直幸氏(旭川医科大学 循環・呼吸・神経病態内科教授)

「健康長寿への男女共同参画へのすすめ」

二部/座長：安齊 俊久氏(北海道大学大学院医学研究院循環病態内科学教授)

演者：立川らく朝氏(落語家、医学博士)

「ヘルシートーク&健康落語」

#### (4) 健康相談

前掲の市民フォーラムの一環として開催、利用者15人。旭川医科大学、札幌医科大学、北海道大学、  
北海道医療センター、北海道看護協会、北海道薬剤師会、北海道栄養士会の協力を得て、総合的な相

談態勢をとった。

#### (5) 健康講座・料理実習

- ・テーマ：健康長寿を目指そう!! ～伝統食材“粉豆腐”で健康な体作りを～
- ・主催：北海道心臓協会、北海道新聞社
- ・日時：9月9日(土)10:00～13:30 25名参加(内男性4名)
- ・場所：光塩学園女子短期大学
- ・講師：藤本真奈美氏(光塩学園女子短期大学教授)、佐藤恵氏(同講師)、佐藤はるか氏(同助手)

#### 2 研究助成事業

第28回目を迎えた平成29年度の伊藤記念研究助成事業は5件の応募があり、予備選考及び9月14日の選考委員会により、3名への助成金贈呈を内定した。伺書による正副理事長の決裁を得て、市民フォーラムの講演会の冒頭に、各50万円を贈った。

佐藤 達也 氏 (札幌医科大学 細胞生理学講座 助教)

降旗 高明 氏 (北海道大学病院 循環器内科 医員)

齋藤 司 氏 (旭川医科大学 循環・呼吸・神経病態内科学分野 助教)

#### 3 研究開発調査助成事業 (別添 助成申込書参照)

今年度は7件の応募があり計35万円を助成した。報告書は機関誌「すこやかハート」に掲載予定。

中田 圭 氏 札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科診療医(第81回日本循環器学会)

延藤 優太 氏 旭川医科大学臨床工学技士(日本心血管インターベンション治療学会2017)

南部 秀雄 氏 北海道大学循環病態内科学大学院生

(第23回日本心臓リハビリテーション学会学術集会)

中島 孝之 氏 北海道大学循環病態内科学大学院生(欧州心臓病学会学術集会)

間 優衣 氏 市立函館病院初期研修医(第79回日本外科学会総会)

小梁川和宏 氏 北海道大学循環病態内科学大学院生(第65回日本心臓病学会学術集会)

福島 亮 氏 札幌南一条病院看護師(第20回日本腎不全看護学会)

#### 4 健康増進対策事業

ホームページに機関誌「すこやかハート」の内容だけでなく、健康講座、各種催しの案内、研究助成事業、研究開発調査助成事業の募集要項等も掲載し、メールによる問い合わせや応募用紙のダウンロードができる仕組みにしている。また、メールによる健康相談も継続して行った。

#### 5 研修医説明会及び関係諸団体への協力

平成29年6月24日(土)札幌グランドホテルにおいて5回目となる「三大学合同研修医説明会」を北海道心臓協会の主催で行い、10名の研修医が参加した。道内3大学の担当者による循環器内科診療の実際、研究業績、研修制度の説明と質疑応答が行われた。

# 平成 29 年度収支決算

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目	29年度 予算額	29年度 決算額	差 異	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1 事業活動収入</b>				
① 基本財産運用収入	15,000	1,323	△ 13,677	
定期預金利息	15,000	1,323	△ 13,677	
② 会費収入	3,050,000	2,779,000	△ 271,000	
法人賛助会費	2,900,000	2,640,000	△ 260,000	10,000円×264口
個人賛助会費	120,000	102,000	△ 18,000	3,000円×34口
個人一般会費	30,000	37,000	7,000	1,000円×37口
③ 寄附金収入	4,500,000	4,265,000	△ 235,000	伊藤義郎氏1,500(千円)、
寄附金	4,500,000	4,265,000	△ 235,000	フォーラム協賛2,765(千円)
④ 雑収入	1,000	22	△ 978	
受取利息	1,000	22	△ 978	普通預金利息
事業活動収入計	7,566,000	7,045,345	△ 520,655	
<b>2 事業活動支出</b>				
① 事業費支出	7,350,000	7,016,827	△ 333,173	
(1) 普及活動費	4,450,000	4,280,297	△ 169,703	
印刷製本費	850,000	638,064	△ 211,936	機関誌130～132号
諸謝費	150,000	171,188	21,188	機関誌原稿料、料理実習講師謝礼
委員会費	140,000	144,603	4,603	第1～4回運営委員会会議費
通信運搬費	160,000	219,222	59,222	機関誌、助成案内の送料等
講演会費	3,000,000	2,957,112	△ 42,888	フォーラム広告費、講師謝礼、会場費等
循環器相談業務費	150,000	150,108	108	フォーラム健康相談謝礼
(2) 研究開発調査費	600,000	353,240	△ 246,760	医療従事者の学会等参加を助成。5万×7名
(3) 研究助成費	1,600,000	1,629,816	29,816	研究助成および運営費
(4) 健康増進対策費	400,000	447,590	47,590	HP製作、サーバ使用料、ネット使用他
(5) 研修会・交流費	300,000	305,884	5,884	研修医説明会他
② 管理費支出	216,000	247,577	31,577	
(6) 福利厚生費	1,000	0	△ 1,000	労災保険
(7) 会議費	50,000	54,132	4,132	理事会、評議員会の会議費
(8) 旅費交通費	10,000	24,430	14,430	交通費
(9) 通信費	60,000	36,808	△ 23,192	事務連絡用の切手、葉書、電話料等
(10) 事務機器費	5,000	39,280	34,280	ファックス、付属機器
(11) 消耗品費	10,000	6,347	△ 3,653	事務用品費
(12) 印刷製本費	10,000	31,212	21,212	会費振込通知書
(13) 租税公課	20,000	20,000	0	法人道民税
(14) 交際費	10,000	0	△ 10,000	慶弔費
(15) 雑費	40,000	35,368	△ 4,632	運営諸雑費
事業活動支出計	7,566,000	7,264,404	△ 301,596	
事業活動収支差額	0	△ 219,059	△ 219,059	
前期繰越額	3,664,332	—		
当期繰越額	—	3,664,332		
次期繰越額	—	3,445,273		

正味財産増減計算書内訳表（公益目的支出計画実施報告）

平成29年4月1日～平成30年3月31日

（単位：円）

科目	公益目的 事業会計	収益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	当年度
I 一般正味財産増減の部		—		—	
1. 経常増減の部		—		—	
(1) 経常収益		—		—	
① 基本財産運用益		—	1,323	—	1,323
定期預金受取利息		—	1,323	—	1,323
② 受取会費		—	2,779,000	—	2,779,000
法人賛助受取会費		—	2,640,000	—	2,640,000
個人賛助受取会費		—	102,000	—	102,000
個人一般受取会費		—	37,000	—	37,000
③ 寄付金収入	4,265,000	—		—	4,265,000
寄附金	4,265,000	—		—	4,265,000
④ 雑収益		—	22	—	22
普通預金受取利息		—	22	—	22
経常収益計	4,265,000	—	2,780,345	—	7,045,345
(2) 経常費用		—		—	
① 事業費	7,016,827	—		—	7,016,827
普及活動費	4,280,297	—		—	4,280,297
印刷製本費	638,064	—		—	638,064
諸謝費	171,188	—		—	171,188
委員会費	144,603	—		—	144,603
通信運搬費	219,222	—		—	219,222
講演会費	2,957,112	—		—	2,957,112
循環器相談業務費	150,108	—		—	150,108
研究開発調査費	353,240	—		—	353,240
研究助成費	1,629,816	—		—	1,629,816
健康増進対策費	447,590	—		—	447,590
研修会・交流費	305,884	—		—	305,884
② 管理費	0	—	247,577	—	247,577
福利厚生費		—	0	—	0
会議費		—	54,132	—	54,132
旅費交通費		—	24,430	—	24,430
通信費		—	36,808	—	36,808
事務機器費		—	39,280	—	39,280
消耗品費		—	6,347	—	6,347
印刷製本費		—	31,212	—	31,212
租税公課		—	20,000	—	20,000
交際費		—	0	—	0
雑費		—	35,368	—	35,368
経常費用計	7,016,827	—	247,577	—	7,264,404
当期経常増減額	△ 2,751,827	—	2,532,768	—	△ 219,059
2. 経常外増減の部				—	
(1) 経常外収益		—		—	
① 固定資産売却益		—		—	0
経常外収益計		—		—	0
(2) 経常外費用		—		—	0
① 予備費支出		—		—	0
経常外費用計		—		—	0
当期経常外増減額		—		—	△ 219,059
一般正味財産期首残高		—		—	37,464,332
一般正味財産期末残高		—		—	37,245,273
II 指定正味財産増減の部				—	
① 基本財産評価益		—		—	0
② 一般正味財産への振替額		—		—	0
当期指定正味財産増減額		—		—	0
指定正味財産期首残高		—		—	0
指定正味財産期末残高		—		—	0
III 正味財産期末残高		—		—	37,245,273

貸借対照表  
平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0		
普通預金	3,445,273		
流動資産合計		3,445,273	
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	33,800,000		
普通預金	0		
基本財産合計	33,800,000		
その他の固定資産	0		
その他の固定資産合計	0		
固定資産合計		33,800,000	
資産合計			37,245,273
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			37,245,273
(うち基本財産)			(33,800,000)
(うち当期正味財産減少額)			(219,059)
負債及び正味財産合計			37,245,273

## 計算書に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1)資産の範囲について

資産の範囲には現金、普通預金を含めることにしている。

なお、当期末残高は4.に記載するとおりである。

### 2. 基本財産の増減及びその金額は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金(長期)	33,800,000	0	0	33,800,000
普通預金	0	0	0	0
合計(基本金)	33,800,000	0	0	33,800,000

### 3. 積立金の増減及びその金額は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
合計	0	0	0	0

### 4. 次期繰り越し収支差額の内容は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金	0	0
普通預金	3,664,332	3,445,273
合計	3,664,332	3,445,273
次期繰越収支差額	3,664,332	3,445,273

財 産 目 録  
(平成30年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
現金 現金手許有高	0		
普通預金			
北洋銀行本店 No.0556179	1,372,206		
北洋銀行本店 No.0748022	874,318		
北洋銀行札幌営業部 No.0612413	250,033		
北海道銀行本店 No.0028852	948,716		
流動資産合計		3,445,273	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金			
北海道銀行本店 No.0150025	10,000,000		
北洋銀行大通支店 No.5091865	20,000,000		
北洋銀行札幌営業部 No.0121016	3,800,000		
基本財産合計	33,800,000		
(2) その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0		
固定資産合計		33,800,000	
資産合計			37,245,273
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			37,245,273